

令和7年度 清風園生活支援施設 地域連携推進会議 議事録

1 開催日時

令和7年12月19日（金）14:00～15:30

2 場所

清風園 管理給食棟及び生活支援棟

3 出席者

(1) 地域連携推進員

ア 利用者 高久武洋様

イ 利用者家族 中村利美様

ウ 地域の関係者 仁平博幸様（さくら市押上小学校長）

エ 市町担当者 西村聖子様（さくら市基幹相談支援センター）

(2) 事務局

ア 根本真理子（清風園長）

イ 鮎澤美雪（清風園副園長兼総務企画係長）

ウ 大島弘美（清風園相談援助係長）

エ 天女目裕子（清風園生活支援係長）

4 欠席者

地域連携推進員 地域の関係者 舟本幸美様

（苦情解決第三者委員・元民生委員）

5 内容

- (1) 鮎澤清風園副園長兼総務企画係長（以下「鮎澤副園長」という。）が進行役となり、開会を宣言した。
- (2) 根本清風園長があいさつをし、出席者が自己紹介をした。
- (3) 議事について、事務局が説明をし、質問等を求めたが、特に質問等はなかった。
- (4) 議事の(1)「清風園生活支援施設の概要について」の説明の後、天女目清風園生活支援係長の案内により、施設見学を行った。

(5) 意見交換を行った。地域連携推進員からの主な意見等は次のとおり。

ア 服薬のアクシデントの内容はどういうものか。

⇒配薬のミス、薬が落ちていることに後で気づき、飲めていないことが分かる落薬、違う利用者に飲ませてしまう誤薬がある。配薬の複数人での確認、薬袋に印刷してある名前を読み上げ、本人確認を徹底するなどの対策をしている。また、服薬用ゼリーなどを使用して利用者が飲みやすい工夫もしていきたい。

イ 「環境が人を作る」と言うように、古くてもきれいにしておくことが大切であると思う。清風園はまだ新しい施設であるが、明るくきれいにされており、利用者も安心して過ごせている様子が見えた。壁の装飾や季節感のあるメニューなど、時季にあわせたものがあると心が豊かになる。そのような言わばプラスアルファの取り組みを職員が行っているのが、とても良いと感じた。

ウ イベントが充実している感じを受けた。出張による理髪をしているが、他に例えば髪を切ることに加えて化粧やネイルをしてもらったり、その写真を撮ったりといった美容の取り組みがあると、生活に潤いが出て良いのではないかを感じた。

エ 子どものいじめが問題になっているが、幼いうちから命の大切さを学校教育で良く教えて欲しい。戦争を体験している自分には、命の尊さが心に沁みついている。先生方にはご苦労をかけると思うがよろしくお願ひしたい。

(6) 根本清風園長から、様々な意見をいただいたことへの謝辞があった。また、いただいた意見をもとに、取り組みを進めていきたいので、今後とも協力をよろしくお願ひしたい、との発言があった。

6 鮎澤副園長が閉会を宣言した。

令和7年12月19日

議事録作成者 清風園副園長兼総務企画係長 鮎澤美雪